

# 平成19年度事業報告

## 1. 事業概要

日本の経済は足踏み状態が続いており、医療や年金制度が不安定な社会情勢は高齢者の生活に大きな影響を及ぼしております。更に、高齢者の労働環境は依然として厳しい状況にあり、当センターにおいても普及啓発活動に力をいれてきましたが、仕事の依頼に対する会員数の不足、仕事内容の多様化により対応が困難などの事例もみられ、これからの課題として解決策を検討することが重要であります。

平成19年度の会員数は1,585人で、前年度より38人減となりましたが、これは、企業の定年延長や再雇用によることが要因であると思われま

す。事業実績では、就業受託金額が858,215,227円（対前年度877,121,207円）、就業延人員については216,351人（対前年度218,602人）となり、民間と公共の比率については67%：33%で、事業所や一般家庭からの依頼が定着しつつあると思われま

す。以下、平成19年度の主要事業について報告いたします。

### 1. 普及啓発事業・就業機会の確保

○地域社会におけるセンターの役割や仕組みなどの周知及び会員への入会促進を図ることを目的とし、以下の活動を行いました。

- (1) 平成19年度も、11月3日の市川市「市民まつり」に参加し、普及啓発促進のため、リーフレット及びポケットティッシュ等を1,000セット配布しPR活動を行ないました。市川市の広報に会員募集の記事を掲載、また、会報「いちかわ」やチラシを発注者に送付し、定期的に利用してもらえるよう、センターの仕事について周知を図りました。
- (2) 千葉県シルバー人材センター連合会主催「女性理事会議」に3名の女性理事が出席し、女性会員の拡大や能力開発、福祉・家事援助サービス事業についての講習を受けました。
- (3) 国の補助事業である「就業機会創出員」を3名配置し、10月から3月の間、一般家庭や事業所の訪問活動(3,176件)を行い、会員募集及び既存発注者の定期的な受注確保に努めました。

## 2. 会員の組織化

○シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を基本とした就業を推進していくことを目的とし、以下の活動を行いました。

- (1) 職群班の活動については、会員が連携し、作業の調整や技術・技能の向上を図り、安全で適正な作業を遂行できるよう、植木、草取り職群班及び自転車管理職群班の会員を対象とした講習会を実施しました。
- (2) 会員主体のボランティア委員会「くすのき会」の活動として、江戸川クリーン作戦（ゴミ0運動）に参加し、また、台風9号による江戸川河川敷の漂着ゴミの清掃を行いました。

## 3. 安全就業対策について

○会員の健康と就業の安全を検討し、その対策を推進することを目的とし、以下の活動を行いました。

- (1) 会報を通じて安全就業についての啓発、また、親睦旅行ではビデオによる研修を行い、事故の未然防止を促しました。
- (2) 安全委員会では、総会終了後に、歩行中や自転車での転倒、作業中に転落などの事故について報告し、安全・適正就業について再確認を行ないました。また、千葉県シルバー人材センター連合会主催の「安全・適正就業講習会」に参加し、安全対策について知識を深めました。その他、委員会の活動として、7月23日・10月17日に会員の作業状況を確認するため依頼先巡視を実施しました。

## 4. 福利厚生事業

○会員及び役員・職員の友好を深め、交流活動を円滑にすることを目的とし以下の活動を行いました。

- (1) 会員相互の親睦の充実を図るため、親睦旅行（高湯温泉へ9月3日と4日）を実施しました。
- (2) 会員による同好会（囲碁・手工芸・料理）が定期的に活動を行い、それを支援しました。